

令和6年度

指導計画・評価計画 1学年

教科名【 技術・家庭科(技術分野) 】

使用教科書【東京書籍】

指導者【 花園 香帆 】

(知) …知識・技能 (思) …思考・判断・表現 (態) …主体的に学習に取り組む態度

学期	題材名	題材のねらい	学習内容	配当 時数	評価規準	主な評価方法
一 学 期	身の回りのものを整理する作品をつくらう	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術についての関心を高める。</li> <li>材料の特徴と利用方法を知る。</li> <li>作品の機能と構造を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な製作をとおして技術が生活の向上に果たしている役割や環境との関係を考える。</li> <li>木材や金属, プラスチックの材料の特徴をまとめる。</li> <li>使用目的や使用条件に即した機能と構造を考える。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち, 主体的に学習に取り組もうとしている。(態)</li> <li>身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。(知)</li> <li>木材, 金属, プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。(知)</li> <li>目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。(知)</li> <li>身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して, 構造と部材を丈夫にする方法について理解している。(知)</li> <li>材料の選択や成形の方法などを構想し, 設計を具体化する力を身に付けている。(思)</li> </ul>	観察・プリント テスト・ノート・プリント 作品 作品 プリント 観察 製作図
	作品の設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>作りたい作品の構想を練ることができる。</li> <li>製作図をかくことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんなものを整理したいか考え, 簡単な構想図をかく。</li> <li>構想の表示方法を知り, 等角図やキャビネット図を用いて製作図をかく。</li> </ul>	8		
二 学 期	作品の製作	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作図をかくことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構想の表示方法を知り, 等角図やキャビネット図を用いて製作図をかく。</li> <li>製作図をもとに製作の工程表を作成することができる。</li> </ul>	16	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作に必要な図の描き方を理解している。(知)</li> <li>製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。(知)</li> <li>材料の選択や成形の方法などを構想し, 設計を具体化する力を身に付けている。(思)</li> <li>工具や機器を適切に選択し, 簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。(知)</li> <li>安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。(知)</li> <li>主体的に材料と加工の技術について考え, 理解しようとしている。(態)</li> </ul>	観察・プリント テスト 観察
		<ul style="list-style-type: none"> <li>製作図をもとに作業の工程表を作成することができる。</li> <li>材料に適した加工法を知る。</li> <li>工具や機器を安全に使用することができる。</li> <li>様々な工具や機器を使用して部品加工をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>材料に適した加工法を調べ, 工具や機器等を安全に使用する。</li> <li>材料に切断線等のけがきを行い, 材料に適した工具を使用して部品加工を行う。</li> </ul>			
三 学 期	作品の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>部品加工した材料を仮組み立てすることができる。</li> <li>組み立てをすることができる。</li> <li>研磨や塗装等の作品の仕上げをすることができる。</li> <li>完成した作品の評価を行い, 工夫した点を発表する。また、改善点を見つけ新しいものを創造する。</li> <li>技術の適切な評価・活用について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部品加工した材料を仮組み立てし, 適宜修正を行う。</li> <li>接合方法を理解し, 組み立てを行う。</li> <li>仕上げの方法を理解し, サンドペーパーや研磨剤等を使用し表面処理を行う。</li> <li>完成した作品の工夫点を発表する。また、改善点を見つけさせ, 新たなものを創造する。</li> <li>材料と加工に関する技術と環境との役割について考える。</li> </ul>	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。(知)</li> <li>材料と加工の技術の概念について理解している。(知)</li> <li>材料と加工の技術の最適化について考えている。(思)</li> <li>これからの材料と加工の技術について考えている。(思)</li> <li>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。(態)</li> </ul>	観察・作品 テスト・観察・作品 テスト・観察・作品 発表・観察 プリント 観察